

九州大学病院

研修医師 河野 正太郎 2013年5月

九州大学病院 初期臨床研修医 2年次の河野正太郎と申します。

このたび、地域医療研修という枠組みで1ヶ月の間、出水総合医療センターで研修をさせていただきました。私は九州大学病院の研修プログラムに基づいて初期臨床研修を行っています。

地域医療の研修先としていくつかの選択肢がありましたが、地域医療の枠組みの中で研修をするからには訪問診療や高齢者医療、プライマリケアに接してみたいと考えてみた結果、出水総合医療センターを研修先に選択させていただくことにしました。

研修プログラムとしては、野田診療所、高尾野診療所、特別養護老人ホームたかおの、大川内診療所、上場診療所、出水保健センターといった協力施設での研修および、出水総合医療センター内の各部署での研修をすることができました。

宗清先生のご厚意により研修内容に関しては、研修施設など自分の希望に合わせて選ぶことができたため、私は1ヶ月を通じ主に野田診療所でお世話になりました。その野田診療所では、診療所での外来に加えて往診も盛んに行っておられました。

Drは内村忍先生一人で診療されていましたが、多分野に渡る幅広い知識と経験に基づいた診療をされており、自ら超音波検査や内視鏡検査を行われ、診療所ながらCT検査も施行可能でした。

午前中の外来では、多くの患者を診なければならず、午後にも往診があるため時間に追われる中でも適宜、研修医への指導をしてくださる先生で、疲れを見せることなく冗談を交えながら診療を続けられていたためか、多くの患者が笑顔で外来から帰って行かれました。

私は出水にきた当日、病院前のコンビニエンスストアの前で道を行く小学生に挨拶をされたことを鮮明に覚えています。知らない人間に挨拶をされてびっくりするとともに、なにやら懐かしい気持ちもあり心穏やかになりました。出水は地域の方々の人柄がすばらしく、この短期間の生活をしてみるだけで心温まる機会が多くありました。その地域の方々と内村先生との楽しい会話をみるにつけ、プライマリケアに携わる医師の豊かな人間性と、人とのつながりを感じた1ヶ月でした。

6月からは九州大学病院での研修に戻りますが、この1ヶ月で見せていただいた医師としての態度や患者とのコミュニケーションは、少しずつですが私も身につけたいと考えています。

最後にはなりますが、お世話になりました先生方、コ・メディカルの方々、事務職の方々、地域の方に御礼申し上げたく存じます。どうも有り難うございました。